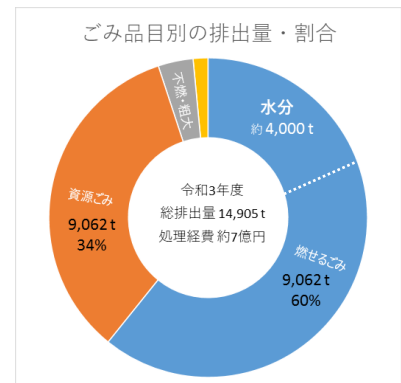


事業者の皆様へ

生ごみの水切り徹底のお願い

ごみダイエット大作戦 水切り徹底！

皆さんは三浦市から排出されるごみのうち、どのくらいの量が水分として処理されているかをご存知ですか。これは推計値になりますが、三浦市におけるごみ総排出量は約14,900 t/年であり、このうち『生ごみ』を含む『燃せるごみ』は約9,000 t/年にのびます。そのうえで『燃せるごみ』の成分は検査結果で約45%が水分であることが分かっていますので、実に約4,000 t/年（総排出量の約27%）は水分を処理していることになるのです。三浦市のごみ処理の経費が全体で約7億円/年かかっていることから、水分の処理に要する経費も非常に多くの経費がかかっていることが分かっていたと思います。



三浦市では、ごみダイエット大作戦の取組として、これまでも生ごみ処理器（キエーロ等）の普及に努めてまいりましたが、この度、三浦建設業組合にご協力をいただき、生ごみ処理器キエーロの販売を行っていただくことが決まりました。

生ごみ処理器キエーロは、裏面に特徴等を記載しましたが、水分を含んだ生ごみを上手に分解し、余計な水分をごみとして出さずに済むため、水分率の低減に大変効果的です。

皆さんも、是非この機会に、生ごみに含まれる水分を1 gでも少なくするよう、生ごみ処理器キエーロの導入をご検討いただけたら幸いです。

裏面には、生ごみ処理器の機種ごとの特徴を掲載しています。

興味にある方・詳しい内容を確認したい方は、廃棄物対策課までお問合せ下さい。

〔 三浦市都市環境部廃棄物対策課
☎046-882-1111 (内線 291、295、299) 〕

生ごみ処理器のご紹介

生ごみを処理できる処理器は、乾燥型、コンポスト（堆肥）型、バイオ消滅型など様々な方法があります。

その機種ごとのメリット・デメリットはさまざまですが、生ごみを家庭で処理することにより、ごみ出しが楽になるほか、ごみ処理費用を年間約10,000円/世帯も削減できるなどの非常に大きな効果があります。

生ごみ処理器の一つであるキエーロは、土中のバクテリアを利用して生ごみを消滅させる容器です。水切りの必要がなく、臭いや虫が発生しませんし、電気等を使用しないため、ランニングコストがほぼかかりません。三浦建設業組合において、令和5年1月4日より、価格20,000円(税込)で販売受付を開始します。ご興味がある方はぜひ購入をご検討ください。

問い合わせ先 : 三浦建設業組合 046-888-5321



○ 生ごみ処理機のメリット・デメリット

処理方式	メリット	デメリット
微生物分解型 (キエーロ)	<ul style="list-style-type: none">・臭いや虫が発生しない・水切りの必要がない・維持費がほぼかからない・ほとんどの食材、廃油（植物油）も投入できる・投入を続けても土の量が増えない・処理後の生ごみを取り出す必要がない	<ul style="list-style-type: none">・気温が低い冬場は分解速度が低下する・設置場所の問題（日当たり、スペースが必要）
乾燥型	<ul style="list-style-type: none">・コンパクト・分解早い・臭いや虫が発生しない	<ul style="list-style-type: none">・ランニングコストがかかる・処理機が高価・廃熱、騒音が出る・乾燥中に独特の臭いがする・処理後の生ごみを取り出す必要がある。
微生物分解型 (加温式)	<ul style="list-style-type: none">・コンパクト・分解早い・生成物を堆肥として使用できる・処理後の生ごみを取り出す必要がない	<ul style="list-style-type: none">・ランニングコストがかかる・処理機が高価・廃熱、騒音が出る・乾燥中に独特の臭いがする